

## 清水市長に予算要望書を提出しました

さいたま市議会9月定例会最終日の10月20日、公明党さいたま市議団は清水勇人・さいたま市長に「平成30年度予算編成並びに施策に対する要望書」を提出しました。今回の要望書には、子育て支援や高齢者・障がい者への支援のほか、市民生活の利便性向上や災害に強い都市・魅力あふれる都市の構築といった9つのテーマが盛り込まれています。

私は保健福祉分野の要望作成を担当し、「長寿応援手帳（仮称）」などの政策提言を盛り込みました。実現に向け、新年度の予算委員会などで具体的に提起してまいりたいと思います。

### 【予算要望のテーマ】

1. 女性の活躍と子育て支援の拡充
2. 教育環境の整備と子どもへの支援
3. シニアが安心して住み続けられる地域
4. 障がい者の自立と生活を支援
5. 市民の健康づくりをサポート
6. 市民生活の利便性とさいたま市の魅力の向上
7. 災害に強い都市づくり
8. 都市を支える産業の振興
9. 住み続けたい魅力あふれる都市



清水市長に要望書を提出する公明党さいたま市議団



## 浦和のまちの風物詩「秋の文化祭」



さいたま市は、平成23年12月に「さいたま市文化芸術都市創造条例」を制定し、行政と市民がともに創る「文化芸術都市」をめざしています。

9月から11月にかけて、浦和のまちは文化祭一色に染まります。公民館では地区文化祭、学校文化祭、浦和区民まつりも行われました。議会のない週末は、区民の皆さまの活躍を拝見したり、運営のお手伝いをさせていただいています。

11月25日には、市民まつりの掉尾を飾ってコルソホールでさいたま市民文化祭が開催されます。これが終わると浦和のまちが一気に歳末を迎えます。